



(I) …… 少女物知り宝典

皆様へ

少女の

この『少女物知り宝典』は、少女の皆様の日々の家庭生活にすぐお役に立つ大切な事柄を集めたものであります。家事、お作法、體育、衛生、身だしなみ、その他ぜひ知っておきたいことを一つ／＼輸入にして面白く説明してありますから、とても愉快地に樂々と覚えられます。皆様がこの本の中のことをよく覚えたら、驚く程物知りになり、いよ／＼立派な少女になつてお家の方や先生にこの上なく喜んで頂けるでせう。どうぞ、この本をいつも皆様のおそばに置いて十分にお役に立てて下さい。

よい品のくは
 善くかけ
 ます

色調
 ノビ
 優秀
 國産代表品

OSAMA SHON
 KIN

夏休みの
 ハンド
 バッグ
 キンダ水彩
 スケッチブック

東京・大塚製筆所

目次

お客に行つた時の履物の脱ぎ方……………(一四)
 アルミニウム洗ひ方……………(一五)
 米糞と米洗ひ方……………(一六)
 眼にごみが入つたとき……………(一七)
 曇りにあつた時……………(一八)
 水道の上手な使ひ方……………(一九)
 砂糖紙に糞をつかせる法……………(二〇)
 顔の洗ひ方とおしぼり……………(二一)
 机の上の明りのとり方……………(二二)
 書籍にさゝれた時……………(二三)
 婦人用のしまひ方……………(二四)
 靴下を長保させるには……………(二五)
 正しい歯の磨き方と歯刷牙の始末……………(二六)
 王冠てフケを除る法……………(二七)
 建具のあけたて……………(二八)

お辨當のつめ方……………(二九)
 濡れた海水漬……………(三〇)
 海水浴と耳の孔……………(三一)
 日課表はあなたの良友……………(三二)
 英語に對する弔慰電報……………(三三)
 お風呂の上手な焚き方……………(三四)
 かきを止める……………(三五)
 櫛の手を上手な使ひ方……………(三六)
 パンを上手に切るには……………(三七)
 硝子の器を洗ふ時……………(三八)
 胡瓜の苦味を取るために……………(三九)
 兒童健康十訓……………(四〇)
 火傷の應急手當……………(四一)

乗物に酔ふ方は……………(四二)
 お客様をお見送りする時……………(四三)
 目上の人と自動車に乗る時……………(四四)
 雨傘類の扱ひ方……………(四五)
 御不浄のお掃除の仕方……………(四六)
 卵の殻の使道……………(四七)
 梅干はこんな役に立つもの……………(四八)
 硝子の破片の散つたのは……………(四九)
 無駄のない石鹸の使ひ方……………(五〇)
 足袋を長保させるには……………(五一)
 使途の多いお鹽……………(五二)
 人を紹介する時……………(五三)
 お紅茶の頂き方……………(五四)
 敬語の使ひ方……………(五五)
 名刺の受け方……………(五六)

鐘詩の見分け方……………(五七)
 靴墨が固くなつた時……………(五八)
 白靴(スツク)の藏ひ方……………(五九)
 靴の中の湿氣を防ぐには……………(六〇)
 安全ピンを持つて出ると重寶……………(六一)
 正しい寝方……………(六二)
 筆と硯はかうして……………(六三)
 洋食心得歌……………(六四)
 古はがきのカード……………(六五)
 布に書いた字を消えなくする法……………(六六)
 新聞や雑誌の帯紙の寸法……………(六七)
 牛乳の見分け方……………(六八)
 お風呂に入る時には……………(六九)
 防水マンツの繕ひ方……………(七〇)
 小舟に乗つた時……………(七一)

踏切は先づ右を見ること……………(七二)
 眼鏡の取扱は……………(七三)
 鉛筆の心得歌……………(七四)
 地震の場合の大切な心得……………(七五)
 パケツに一杯の水とかまどの灰……………(七六)
 便利な輪ゴム……………(七七)
 既製品を着る前に……………(七八)
 パン屑の残りをパン粉……………(七九)
 釘の上手な打ち方……………(八〇)
 眼を美しくする法……………(八一)
 チョコレットをしまつて置く時……………(八二)
 草花や植木に水をやるには……………(八三)
 鳥糞や糞が着物についた時……………(八四)
 麵類の茹汁で洗髪……………(八五)
 慰問袋に入れて喜ばれるもの……………(八六)

年賀状の日附と切手……………(八七)
 葉書の中央は「は」の字を自當に……………(八八)
 ひび、癖の治し方……………(八九)
 しもやけの治し方……………(九〇)
 こぼした灰を除る法……………(九一)
 日焦の豫防と治し方……………(九二)
 咽に骨などさつた時……………(九三)
 お年寄や小さい子と歩く時……………(九四)
 小遣帳をつけるには……………(九五)
 葱やシウマイを食べて口の臭い時……………(九六)
 氷のない時の冷し方……………(九七)
 パターの保存……………(九八)
 瓦斯の使ひ方上手……………(九九)
 洗濯物入れ……………(一〇〇)
 毛糸編物の干し方……………(一〇一)

ス・フの洗濯……………(一〇二)
 雑巾がけのコツ……………(一〇三)
 帽子を洗つた時は……………(一〇四)
 浴衣を干すには……………(一〇五)
 水蟲にお茶……………(一〇六)
 フェルト草履を買つた時……………(一〇七)
 着物を樂にほどくには……………(一〇八)
 すり硝子の落書を消すには……………(一〇九)
 途上て鼻緒を切らした時……………(一一〇)
 炭のおこし方……………(一一一)
 新鮮な卵の選び方……………(一一二)
 腕時計をいたはつて下さい……………(一一三)
 アイロンをかける時……………(一一四)
 夏の清潔法……………(一一五)
 夏の慰問袋と冬の慰問袋……………(一一六)

アルマイトのお鍋………(二三)
大切な貯金通帳の記号番號………(二三)
靴の手入………(二三)
箱底のお焦をすぐにする法………(三五)
経済的な贈答の料理法………(三六)
軍事郵便物の表紙………(三七)

國花 『櫻』

- (一) 大和島根の春霞、黒潮白波朝ぼらけ、空はのくと咲きいでて、美はしきかな櫻花。
- (二) 清く明るく勇ましき、大和心を証して、燃ゆるくれなる、山嵐に散りゆくさまも、潔し。
- (三) 朝日照り添ふ花かげに、籠る歴史も三千年や、遺烈かくはし香野山、うらみは深し院の莊。
- (四) 外國びともうち仰ぐ、わが日本の花の粹、匂ひ輝け、永久にああ、數島の山櫻。

西條八十作

これは少女倶楽部の歌です。『荒城の月』春高櫻の花の寒の曲で、おうたひ下さい。

お辨當のつめ方

御飯が温かい時に、冷たいお茶を入れますとお辨當が腐り易いのです。兩方共同じ位の温度にしてあれば割合に腐り方がおそい。一體に熱いうち箱に入れて蓋をしますと、夏季には殊にむれて臭氣を伴ひますから冷ましてから蓋をされるのがよろしい。一番良いのは朝飲いた御飯に朝露をお茶、又は朝火を入れ直したお茶を同じ位に冷ました時詰める事です。冷たいなら良からうと冷蔵庫から出した丈の物を入れてはいけません。御飯の方に梅干を少し入れるのは防腐の效があります。少し入れてその上に御飯をのせ



るか、蒲板(蘆木)か竹の皮を小さく切つたのを被せておけば、アルミニウムを害しません。

お客様をお見送りする時

お客様のお歸りの時は、玄関までお見送りしますが、其の時は、コート、ショール、外套、襪巻などをお召しになるやうにおすゝめし、出来るだけお手傳をします。そして、支度の整ふのを待つて、次にお挨拶を交はし、お客様の姿の見えなくなるまで静かに見送つてから、戸、障子を閉めます。お客様が玄関を離れるとすぐ、パチンと音を立てて電燈を消したり、急いで戸や障子を締めたり、笑顔をたてたりしないことです。乗物が門口までお迎ひに来てる場合など



は其處までお見送りします。お客様のもてなしは、すべて、訪問してよかつたと感ずるやうにするものですが、わけでもお別れ際の心遣は大切です。

目上の人と自動車に乗る時

目上の人やお年寄と一緒に自動車に乗る時には、萬一の場合のことを考へ比較的安全な位置へ、座をお取らせするものです。その位置は運転手の後の座席です。乗る時の後先の順は、必ずかうといふ定めはありませんが、目上やお年寄の人を先にして、自分は後から乗る方が、つましやかなものです。降りる時には、自分が先づ降りて、目上やお年寄の人をお援けする心が必要です。



す。電車の乗降も、自動車の場合に準じて結構

人を紹介する時

皆さんが、知人やお友達などを、他人に紹介なさる場合には、先づ目下の者を、先に目上の者に向かつて紹介します。それから、自分の身寄とか、親しい者を、先づ遠い關係の人に紹介するのが順序です。例へば、皆さんのお母さんや、妹さんを先生に紹介なさるやうなときだつたら、『先生、あの私の母(或は妹)を、御紹介申し度いと思ひますが……こちらが母(或は妹)でございます。』と言ひ、この時ちよつと、お母さんの方を向いて、小聲で『私が何時もお世話になつてゐる、何々先生です。』といふ風に、紹介すればよいわけです。



お紅茶の頂き方

お紅茶をすゝめられたら先づ角砂糖をお茶の中に入れます。ポチヤンと落さぬやう靜かに響くしてからスプーンを入れて靜かに攪きませて溶かします。大抵お茶碗の手が左側になつて居りますから、左手で押さへ右手でさじを持ちます。かき混ぜてからスプーンをお茶碗の向かふにお皿の上に置き、お茶碗の手を前から右に廻し、お茶碗を右手だけで持つて靜かに飲みます。



普通はお皿毎取り上げずお茶碗だけ持ちますが、お茶碗から茶が落ちるやうな時はお皿と共に左手の上のせませす。

赤ちやんにのませる時のやうにさじで持つて頂くのは間違です。

物知り談
笑はれる鐵の洋服履装。
垢の下着と共に恥づかし

暑さにあつた時

夏は日向で長い時間遊んだり仕事をしたりすると、暑さにあつたつて、頭が痛み胸がむかついて來ることがあります。さういふ時には日陰の風通しのよい所に入り、帯をゆるめ、冷たい水で顔を洗つて、靜かに横になります。そして薔の葉か菊の葉を鹽と一緒に揉んで、その青い苦い汁を盃に一杯位飲むと、大抵氣分がよくなります。頭痛のひどい時はこの汁を、こめかみ等に塗ると大變效目があります。又、梅酒があれば、水か氷で割めて飲んでみてもすぐ效目があります。



水道の上手な使ひ方

朝起きて最初に栓をひねつて出す水は、時によると鐵管の錆などあることがありますが、バケツに半杯位は撒水や掃除水に使つてから、お炊事用や顔洗用に使ひます。又、水がある度に栓を全部あけて勢よく水を出すと、メーターのまはり方が早く、料金も多くなりますから、栓は半分位ひねつて細く水を出し、汲み溜めてから使ふ方がよいのです。水道を使つてゐる一番困るのは、冬の寒い時は夜中に凍つて朝起きて水が出ない事です。毛織の古い布で栓のまはりから柱まで



ておくと、よほど寒い夜でも凍りません。

ラヂオの注意は こんな風に

ラヂオに湿気は毒物です。湿気の多い場所に置くとか故障を起しがちです。必ず乾燥した場所に置くことです。壁にピッタリと接して置くことや、雨の日にしぶきの吹き込む窓際など最もいけません。

次に急にガタ／＼させることも良くありませんから、小さな子供のあるお家などは特に気をつけてください。スイッチを切るにも「オンハリ」とし、手荒にははいけません。

音は少し低目の方が、眞の音色に近いものが聞かれ、また落付いた気持ちで味はふことが



近火の場合の心得

近火の時はすぐ、火元に向した方の窓や戸を閉めることです。開いてゐると火を呼ぶかからず。但し鏡をかけたはいけません。そして、壁障の障子や襦袢を外してしまひます。

次に、一番大切な物から手をつけ始めます。例へば、お家の貴重品など一纏にして厨箱に入れるか、風呂敷にクル／＼と巻いて、手早く身障につけてしまひます。

時によつては、庭の土を出来るだけ深く掘つて、其の中に埋めます。

衣類は袋に詰めるのが持ち運びに安全です。が、無ければ大風呂敷や浴衣を捲いて、大切なものから先に其の中に包みます。蒲團類は



正しい歯の磨き方と 歯刷子の始末

皆さんは、毎朝きつと歯を磨かれますね、けれど本當は、夜やすむ前にもう一度磨かなくてははいけません。だと言つて、餘り度々磨くと、却つて歯を弱めますから御注意下さい。

次に歯刷子の正しい用ひ方は、歯刷子を横に持ち、歯の上で歯を擦くやうな心持で、歯刷子を上下させ、歯の内側や、噛み合はせる所迄も、よく磨きます。

それから、歯刷子の使用後は、十分に水洗して、刷子の間の汚物を除り、その



玉葱でフケを除る法

梅雨の頃から、曇い夏にかけて、のぼせ易い人は、一層頭髪にフケが多くなつて、困られることと思ひます。このやうな人は、玉葱を一個つかつて、洗髪すればよいのです。それには、初め玉葱の薄皮をはいてから、鉦金でおろし、それを晒の布に包んで濾した汁に、アルコールを一、八割程加へ、此の液をよくふりませます。次にそれを脱脂綿か晒などに含ませて、頭の上に塗り込んで、頭を乾かします。さうして、鬚髻りのよとれてしまひます。

